

第5回近畿圏大深度地下使用協議会の審議概要について

1. 平成18年1月31日（火）13時30分より、大阪合同庁舎第1号館第一別館2階大会議室において、第5回近畿圏大深度地下使用協議会が開催された。

2. 本協議会においては、大深度地下をめぐる最近の状況等について及び大深度地下関連調査事業の進捗状況等について説明が行われた。その主な内容は以下の通り。

○神戸市大容量送水管整備事業については、昨年8月に手続きが開始されたが、神戸市から認可権者である兵庫県知事へ事業概要書が提出され、公告・縦覧を行った結果、必要な事業調整の申し出はなかった。

○大深度地下をめぐる最近の状況については、首都圏の地下の利用状況、大深度地下利用制度の重要性等及び大深度地下情報システムの整備状況等に関して説明がなされた。

○大深度地下関連調査については、大深度と浅深度地下利用のコスト比較（中間報告）の概略、地下空間の活用事例、技術ハンドブック（中間報告）の概略に関して説明がなされた。

○その他の事項としては、東京外かく環状道路について、現時点における計画の具体化に向けての検討状況についての説明がなされた。

以 上